



発行責任者 山元俊憲
昭和大学薬学部
東京都品川区旗の台1-5-8
電話：03-3784-8000 (代)

薬と学

昭和大学薬学部の教育と研究についての情報です。

THE FOUNDING SPIRIT 建学の精神

至誠一貫 昭和大学は、薬学部のほか、医学部、歯学部、保健医療学部からなる日本で唯一の本格的医系総合大学です。本学の建学の精神「至誠一貫」は、真心を持って患者さんに尽くすことを意味します。薬学部では、患者さん中心の医療を実践するヒューマニズムあふれる薬学専門家の養成を目指します。

表題の「薬と学ぶ」は、薬についての知識を学習するだけでなく、その知識を持ちながら、薬についてのプロフェッショナルという専門性を生かしてチーム医療の中で患者さんに対応する能力を学ぶという意味を表現したものです。

EDUCATION

教育

海外における薬剤師の役割を知る ~ Exchange Program in Sister Schools ~

昭和大学薬学部では、米国・オルバニー薬科大学、タイ・マハサラカム大学、韓国・嶺南大学の3校と学部間協定を結んでいます。5および6年次にはこれらの大学に、最長6週間にわたり留学し、現地の薬剤師の仕事を学ぶことができます。米国には毎年6年生の4月～6月に留学していますが、今年は大谷莉代さん、夏夕貴さん、藤本和絵さんの3名が行ってきました。そのときの様子を紹介します。

実習



水剤の配合です (大谷)



とてもフレンドリーで優しい校長先生。私たちが快く迎えてくれました。



友人宅でパーティー!

オルバニー薬科大学 (ACPHS: Albany College of Pharmacy and Health Sciences) は、1881年にアメリカで14番目の薬学部として創立された大学で、ニューヨーク市の北、約250kmに位置する州都オルバニー市にあります。アメリカの薬学部では、6年生になるとほぼ1年間にわたり病院や薬局など6か所の実習(ローテーション)を行うこととなりますが、その一つとして海外の薬学部への留学があり、昭和大学にも毎年交換留学生が訪れています。

セミナー



英語の論文を読んで、プレゼンテーション。



調剤実習では6年生の生徒が付き添って教えてくれました。



カプセル剤の中身を配合しました。乳鉢が重い! (藤本)

ボストンにて観光中!



ボランティア活動

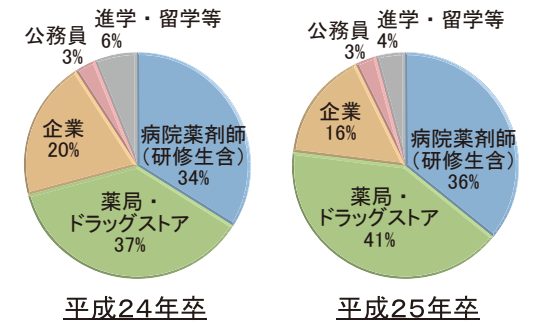


病院実習 瞳孔チェック。目が青いと分かりやすかったですね。(夏)

オルバニー大の仲間と一緒に!

薬学部卒業生の進路 ~ 昭和大学 ~

薬学部卒業生の進路は、他の医療系学部と異なり多様である特徴があります。病院や調剤薬局で薬剤師のライセンスを活かして勤務するほか、製薬企業で新薬の研究・開発や医薬情報担当者(MR)として病院や薬局に情報を提供する職業もあります。最近では、CRO(Contract Research Organization)といって治験(患者さんに参加して頂く、医薬品の有効性・安全性を確認する試験)を専門に行う会社に勤務する方も増えています。その他、公務員として厚生行政に携わったり公的研究所で研究者となる場合、大学院に進学して将来の薬学教員を目指す場合など様々です。これらの中でも、病院、調剤薬局、製薬企業やCROなどの企業が主要な就職先



となっています。昭和大学薬学部では、これら3つの方向にバランスよく就職してくれることを望んでおりましたが、薬学部6年制一期生(平成24年卒)では病院・薬局・(企業+その他)でいたい1/3ずつとなり、当初の目標に沿ったものとなりました。一方、二期生(平成25年卒)では、前年に比べ病院と薬局が増え、企業が減少する結果となりました。今後は、一層キャリア支援を充実させて卒業生進路の多様性を確保して行きたいと思えます。(キャリア支援室運営委員 沼澤聡)

卒業生の声

田口 由美子 (共立女子高、平成19年卒)



私は現在大学病院で薬剤師レジデントとして働いています。調剤業務では基本的知識・技能の習得に努め、病棟業務ではチーム医療を通じ薬剤管理指導を行っています。目の前の患者さんの全身状態を把握し、治療に対しての思いを汲みとったうえで、医師や看護師をはじめとする多職種と連携し適切な治療が行われるよう関わっていきたくです。

学生ときには病院や調剤薬局、ドラッグストアで働く方々のお話を聞き、実習することで自分が目指す薬剤師像を考えました。これから多くの出会いを通じ、薬剤師の可能性を感じていただけたらと思います。



後藤 拓也 (県立前橋高、平成19年卒)



現在私は、茨城県で大手薬局の薬局薬剤師の一員として、日々さまざまな業務を行っております。

私は高校生の時に「誰かの役に立ちたい」という理由から医療の道を志すようになりました。特に、化学分野が得意であった事、そして学校行事で行われた薬剤師の職場見学で憧れが強くなりました。大学時代には、患者さんや地域の方々が実際にどのような医療を求めているかを常に考え、病院・薬局実習及び勉学に励みました。

これから皆さんは進路を決めていく上で様々な悩みを持つと思います。今自分が何をしたいのか、難しいし漠然とした考えしか出てこないかもしれませんが、一度真剣に考えてみてください。

斉藤 知佳 (星野高、平成19年卒)



私は現在、県庁の業務課で公務員薬剤師として働いています。

私は以前は病院で患者さんの命を救うお手伝いをしたいと考え、薬剤師を志していました。しかし、大学入学後病院・薬局へ実習に行った際に、講義で習った法律が実際の現場で生きていることを感じました。その経験がきっかけとなり法規や衛生の分野を意欲的に勉強し、現在の仕事にもその経験が生きています。薬学というと「医療」のイメージが強いですが、「薬の安全を守る」今の仕事は大変やりがいがあり、本当にこの職に就いてよかったと思っています。

富田 雄大 (独協埼玉高、平成17年卒)



私は外資系製薬会社で医薬情報担当者(MR)の仕事をしています。もちろん薬剤師の免許を持っていますが、病院でなく製薬会社に入社したのは、在学中に患者さんや医療従事者にもっと薬の良さを伝えたいと感じたからです。そのきっかけとなったのが5年生での実務実習(病院・調剤薬局)でした。患者さんとの触れ合い等、薬学部での貴重な経験は、卒業した後も活かしています。大学生活は大きく成長できる最後のチャンスです。本当になりたいと思う進路に向かって頑張ってください。

INFORMATION

情報

昭和大学の入試関連情報は、PCからアクセス <http://www.showa-u.ac.jp/admissions/index.html>



なんでだろう?

Q. 今年流行している「風疹」ってなんだろう?
- 今年の風疹はどうして問題なの? -



この問題の解説は、 http://www.showa-u.ac.jp/sch/pharm/kusuri_manabu.html

ご意見、ご質問 昭和大学薬学部 広報委員会
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8
昭和大学薬学部毒物学部門内 担当: 沼澤聡
numazawa@pharm.showa-u.ac.jp